
技術系留学生の採用に関するアンケート調査結果

○調査対象 : 151社

産業技術委員会、産学官連携推進部会、大学院博士課程検討会 委員会社

○調査期間 : 2008年3月27日～4月14日

○回答社数 : 60社 (回答率:40%)

2008年9月

日本経団連 産業第二本部

アンケート結果概要

■ 採用実績

- ▶ 68%の企業(60社中41社)で技術系留学生の採用実績があり、42%の企業(同25社)では定期的(ほぼ毎年)に採用を行っている。

■ 採用したことがある企業(41社)の状況

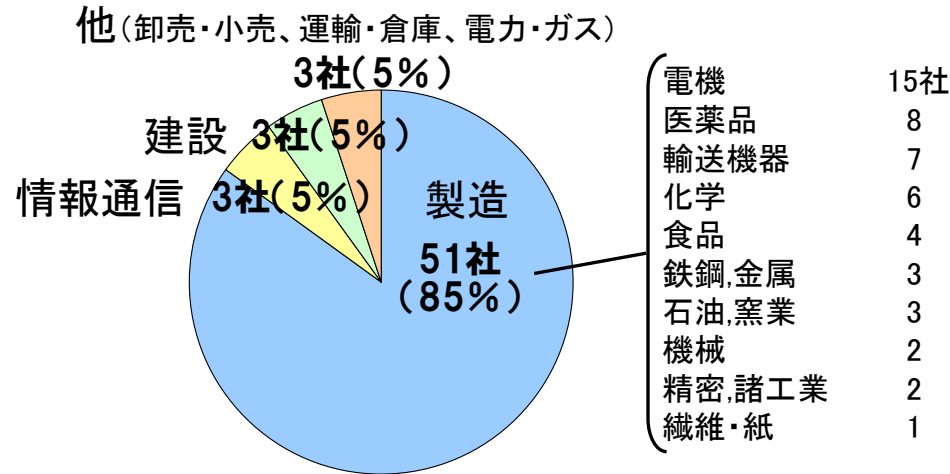
- ▶ 技術系留学生の最大の採用目的は、「国籍を問わず必要な人材を獲得すること」(39社)であり、採用の際は「専門知識・能力」(35社)に加え、「日本語力」(33社)が重視される。
- ▶ 2007年度に技術系留学生を採用した企業(27社)の採用人数は合計125人。技術系採用総人数の2%を占める。また、中国出身者が67%を占める。
- ▶ 2007年度の採用者に対する“質”の面での満足度は非常に高い(平均95%)。国籍に関係なく必要な能力を備えた人材を厳選して採用していると思われる。
- ▶ 今後の採用方針として、49%(20社)が「拡大」、32%(13社)が「維持」を計画。

■ 採用したことがない企業(19社)の状況

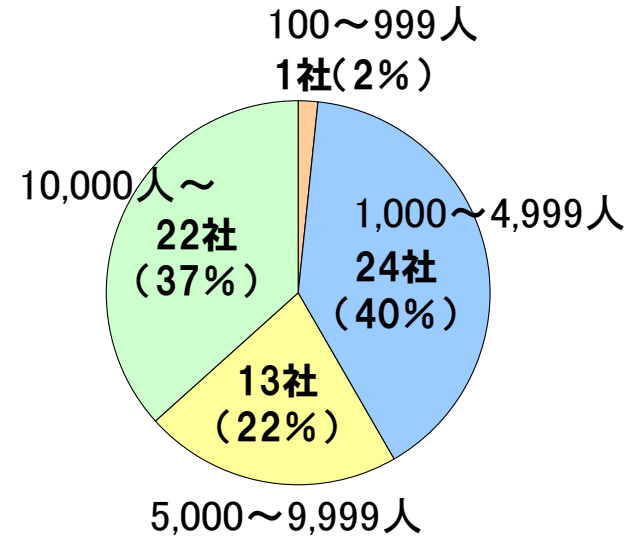
- ▶ 技術系留学生を採用したことがない主な理由は、「日本人だけの採用で十分であり、留学生を採用する必要性がなかった」(13社)
- ▶ 今後の採用方針として、47%(9社)が「今後、採用を検討」

I. 回答企業の概要

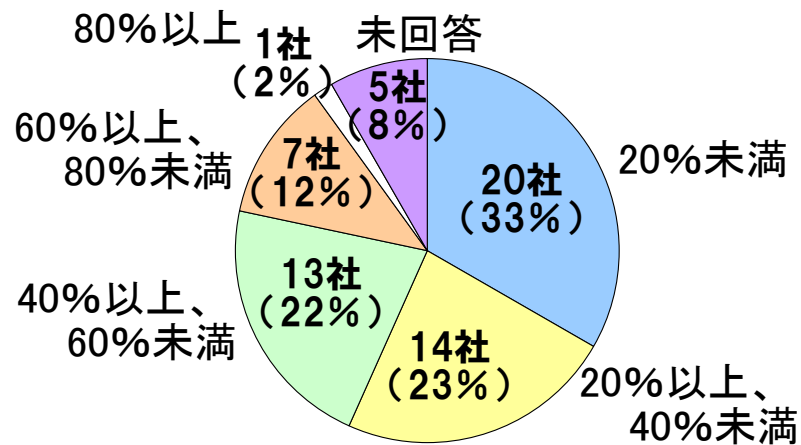
1. 業種



2. 従業員数



3. 海外売上高比率(2006年度)



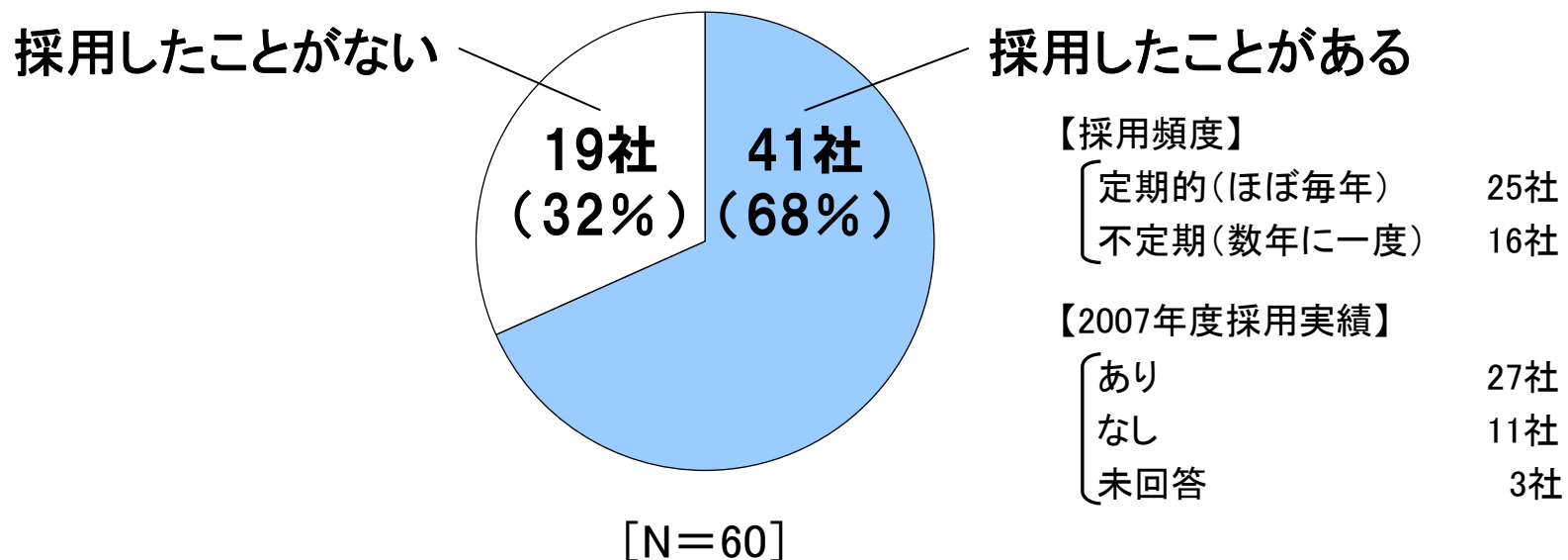
Ⅱ. 採用実績

■ 60社中41社(68%)の企業に、技術系留学生※¹の採用実績※²あり

- 41社中、定期的(ほぼ毎年)に採用を行っている企業は25社(回答60社の42%)、2007年度に採用を行った企業は27社(同45%)

※¹日本に留学し、大学等において、理学、工学、農学、医学、歯学、薬学等の専攻分野を卒業した外国人

※²正社員または嘱託としての新卒採用



Ⅲ. 採用したことがある企業の状況

1. 採用人数

■ 2007年度に技術系留学生を採用した27社の採用人数は計125人
 (学部:11人、修士:81人、博士:18人、他*:15人)

▶ 技術系採用総人数に占める割合は全体で2%
 (学部:1%、修士:2%、博士:7%、他:2%)

▶ 中国出身者が占める割合は全体で67%
 (学部:73%、修士:77%、博士:44%、他:40%)

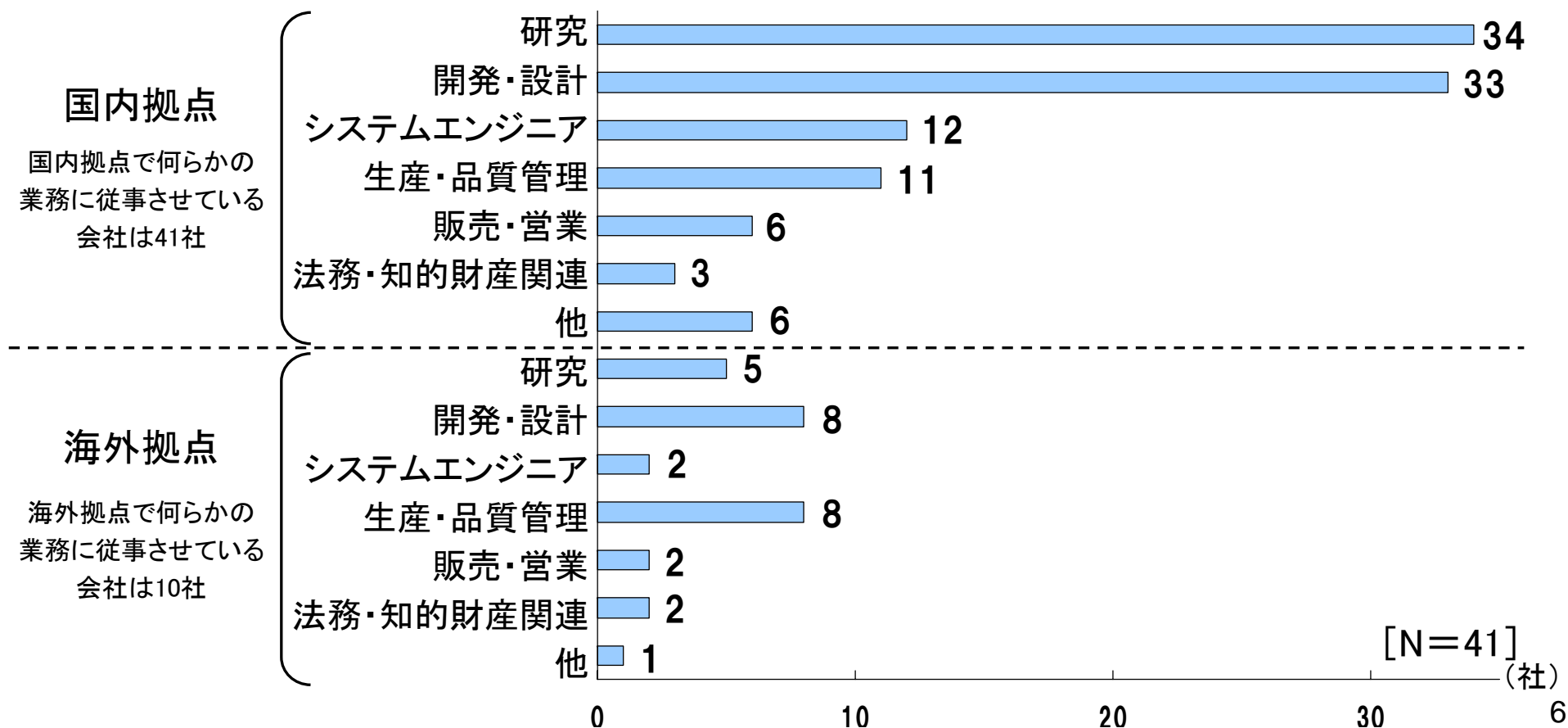
※在学段階について不明な人数を含む

	①技術系留学生 2007年度採用人数 (27社合計)	②技術系 採用総人数 (27社合計)	①÷②	主な出身国別人数 (①の内数)
学部	11人	1,328人	1%	中国 8名
修士	81人	3,841人	2%	中国62名、韓国5名、ベトナム3名
博士	18人	245人	7%	中国 8名、タイ4名
他	15人	963人	2%	中国 6名
合計	125人	6,377人	2%	中国84名、韓国8名、タイ5名、ベトナム4名

Ⅲ. 採用したことがある企業の状況

2. 従事する主な業務内容

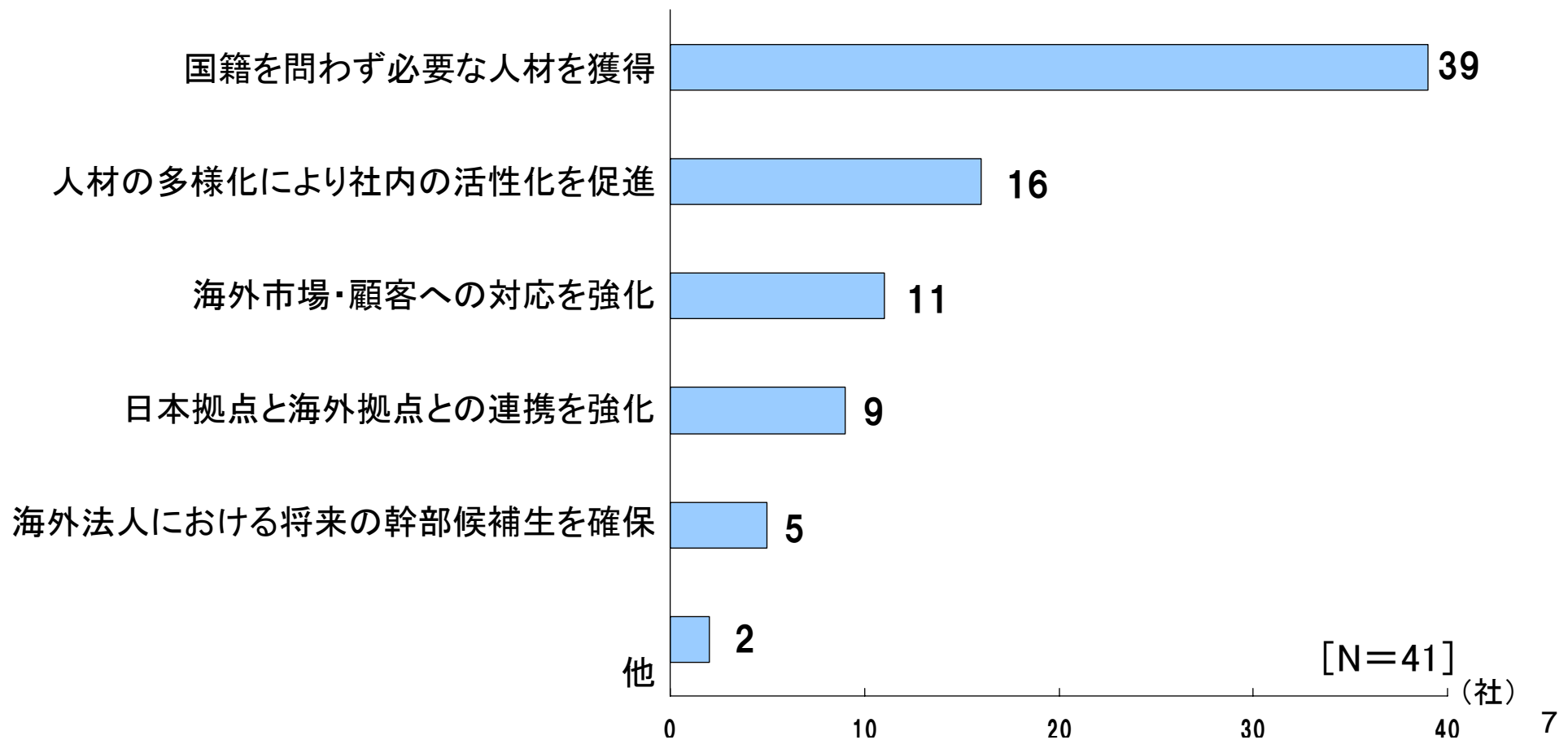
- 技術系留学生が従事する主な業務内容は、国内拠点での「研究業務」(34社 [回答41社の83%])と「開発・設計業務」(33社 [同80%])
- 海外拠点での業務に従事させている会社は少数(10社 [同24%])



Ⅲ. 採用したことがある企業の状況

3. 採用目的

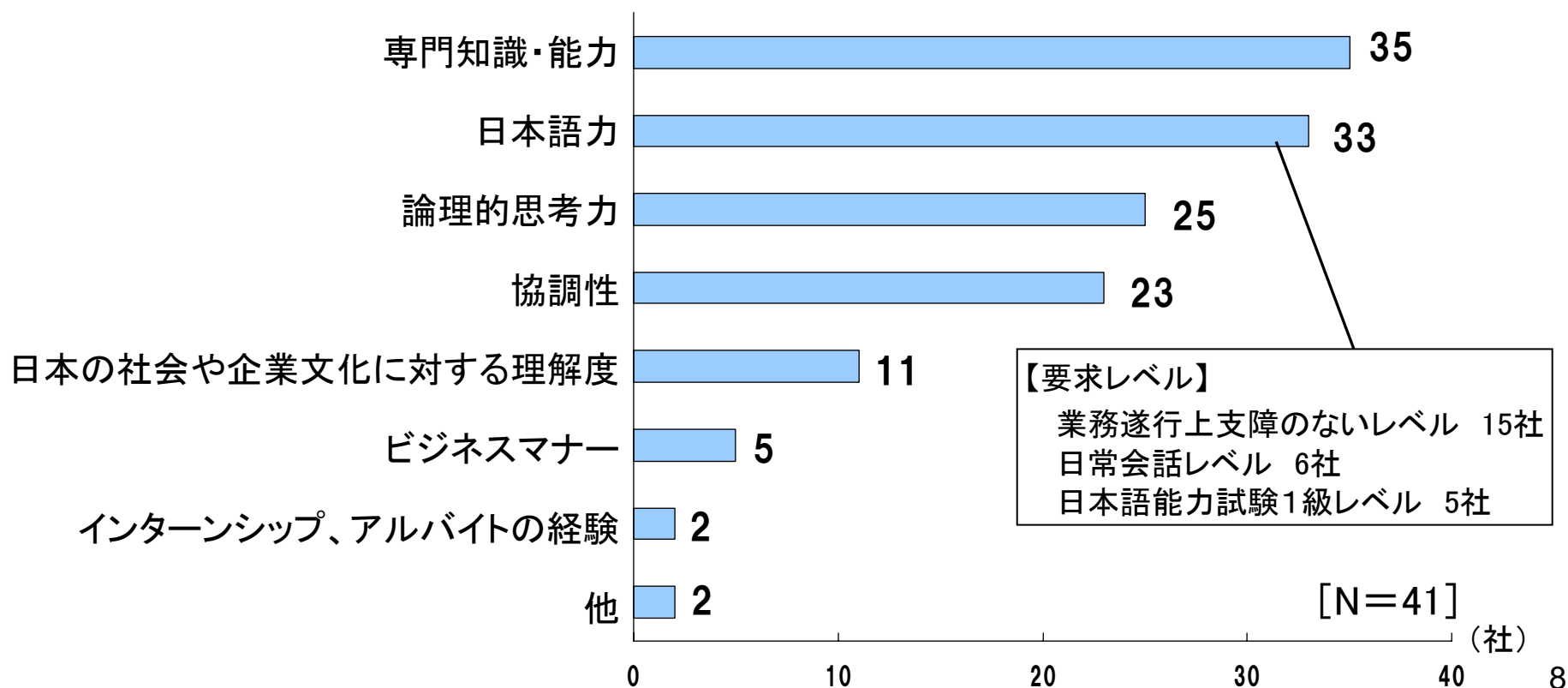
■ 技術系留学生を採用する最大の目的は、「国籍を問わず必要な人材を獲得」(39社 [回答41社の95%]) すること



Ⅲ. 採用したことがある企業の状況

4. 採用における重視ポイント

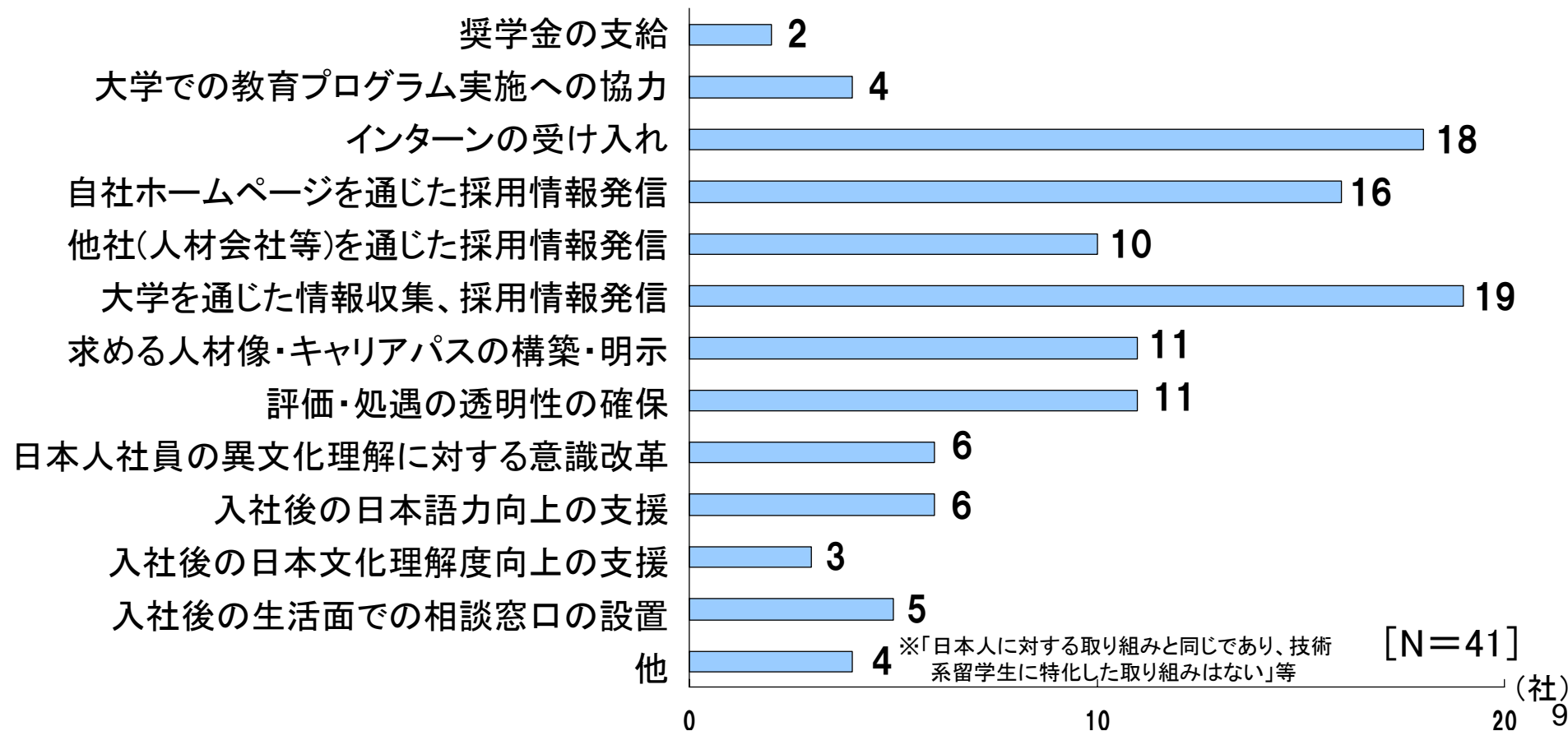
- 技術系留学生の採用においては、「専門知識・能力」(35社 [回答41社の85%])に加え、「日本語力」(33社 [同80%])を重視
 - ▶ 「日本語力」は、業務遂行上支障のないレベル(15社)、日本語能力試験1級レベル(5社)など、高いレベルを要求している企業が多い



Ⅲ. 採用したことがある企業の状況

5. 修学支援・採用・活用面での取り組み

■ 技術系留学生に対して、特に、「大学を通じた情報収集・採用情報発信」(19社 [回答41社の46%])、「インターンの受入」(18社 [同44%])に取り組んでいる



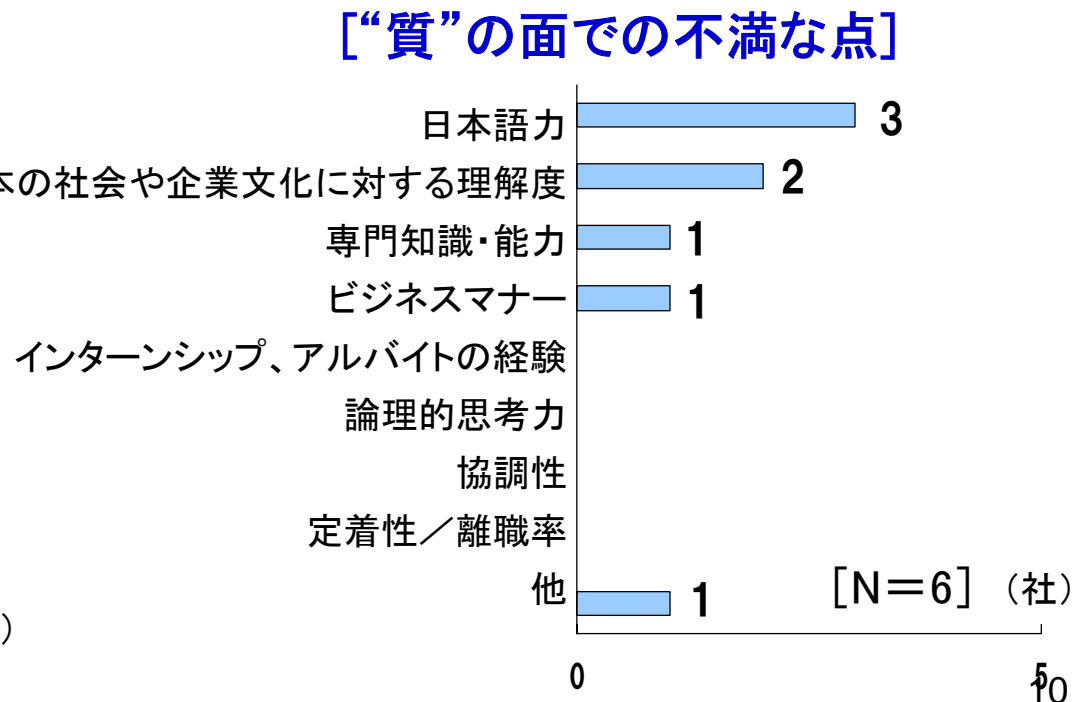
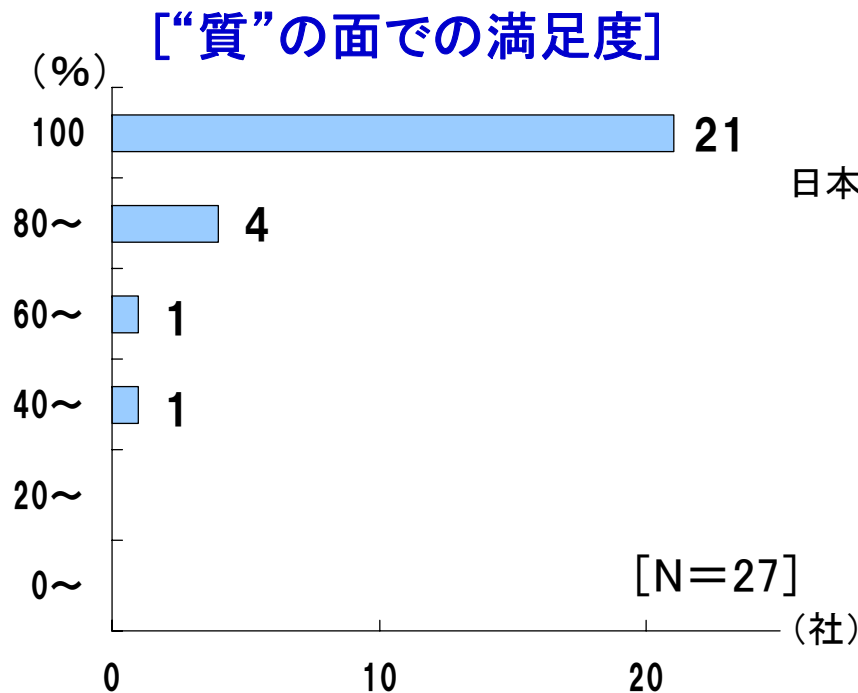
Ⅲ. 採用したことがある企業の状況

6. 採用に関する満足度 ①“質”に関する満足度

■ 2007年度の技術系留学生採用者に対する“質”の面での満足度※¹は、27社平均で95%と高い

- 27社中21社(78%)が満足度「100%」と回答
- 残り6社のうち3社は不満な点として「日本語力」を回答

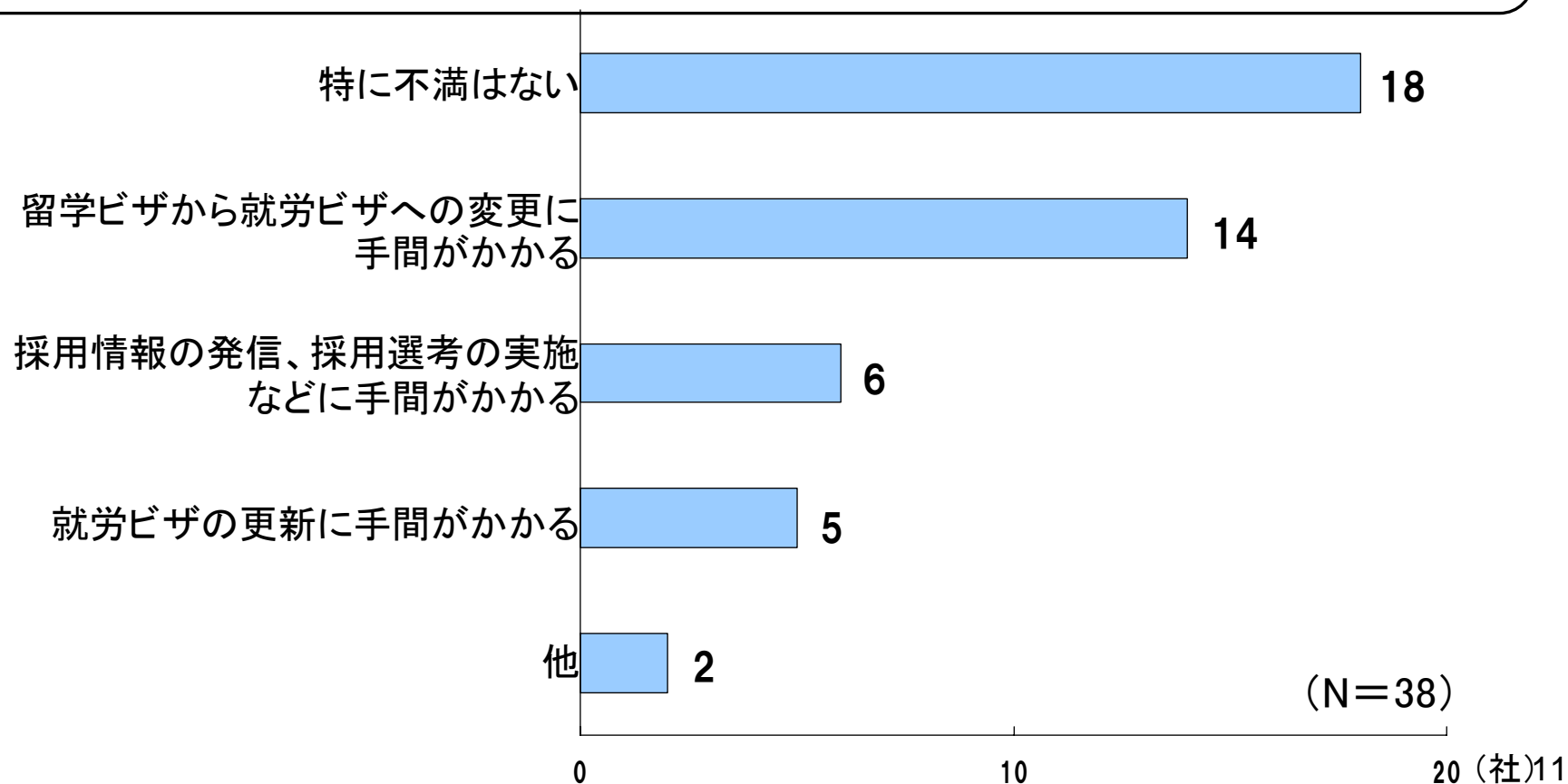
※ 平均的な日本人採用者と比較して総合的に同等以上と評価できる採用者の割合



Ⅲ. 採用したことがある企業の状況

6. 採用に関する満足度 ②制度面他での満足度

- 38社中18社(47%)は制度面での不満は特になし
- 一方、38社中14社(37%)が、留学ビザから就労ビザへの変更に手間がかかると感じている



Ⅲ. 採用したことがある企業の状況

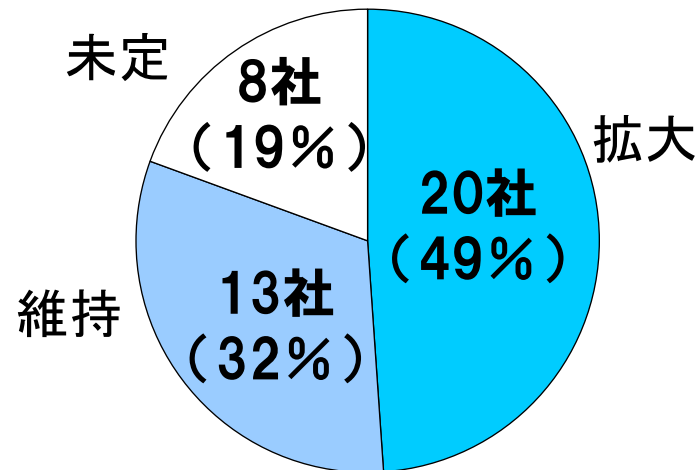
7. 政府・大学・企業が行うべき／強化すべき取り組み

政府	<ul style="list-style-type: none">➤ ビザの取得、変更、更新手続きの簡略化・スピードアップ【10社】➤ 受入環境の充実(奨学金、住宅など)【7社】
大学	<ul style="list-style-type: none">➤ 教育制度の充実(日本語・日本文化・ビジネスマナーなど)【5社】➤ 就職活動の支援(情報提供など)【4社】
企業	<ul style="list-style-type: none">➤ 英語でのコミュニケーション環境の整備【4社】➤ 留学生向け情報発信の強化【2社】➤ インターンの受入【2社】➤ 4月以外の卒業・修了時期に対応できる採用選考・受入体制の整備【2社】➤ 入社後のケア体制の整備(生活相談窓口の設置など)【2社】➤ キャリアパスの構築【2社】

Ⅲ. 採用したことがある企業の状況

8. 今後の採用方針

- 技術系留学生を採用したことがある企業(41社)では、20社(49%)が採用拡大、13社(32%)が採用維持を計画

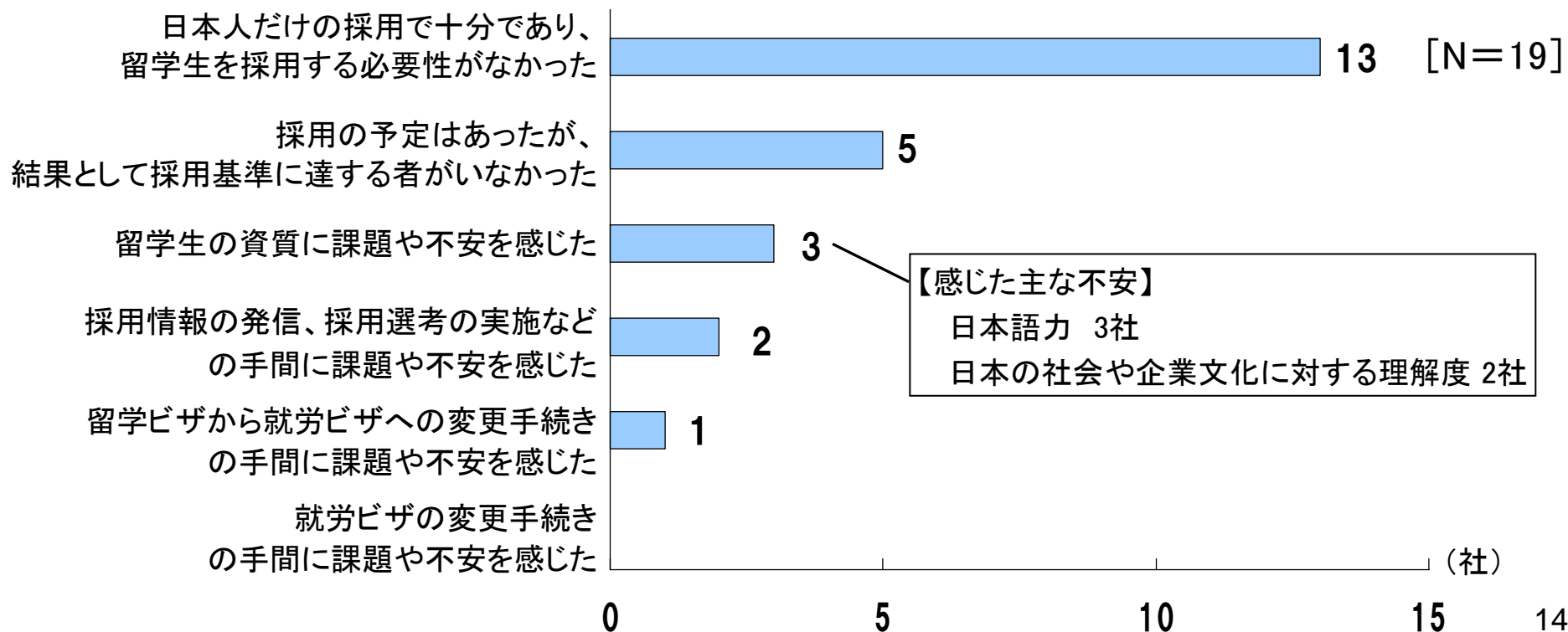


[N=41]

IV. 採用したことがない企業の状況

1. 採用しない理由

- 技術系留学生を採用したことがない主な理由は、「日本人だけの採用で十分であり、留学生を採用する必要性がなかった」(19社中13社[68%])
 - 理由として「留学生の資質に課題や不安を感じた」と回答した3社全てが、感じた不安な点として「日本語力」と回答



IV. 採用したことがない企業の状況

2. 政府・大学・企業が行うべき／強化すべき取り組み

政府	<ul style="list-style-type: none">➤ 教育制度の充実(日本語、日本文化など)【2社】➤ 受入環境の充実(奨学金、留学生会館など)【2社】➤ 就職活動の支援(情報提供など)【2社】
大学	<ul style="list-style-type: none">➤ 教育制度の充実(一般的マナーなど)【1社】➤ 受入環境の充実(奨学金、宿舎など)【1社】➤ 就職活動の支援(情報提供、相談窓口設置など)【1社】
企業	<ul style="list-style-type: none">➤ 求める人材の明確化【1社】➤ 入社後の教育、キャリアパスの構築・支援【1社】➤ インターンの受入【1社】

IV. 採用したことがない企業の状況

3. 今後の採用方針

- 技術系留学生を採用したことがない企業(19社)では、9社(47%)が今後、採用を検討

